

令和7年度 川崎市予算案について

令和7年2月

～「生命(いのち)を守る安全・安心予算」～

本市財政は、市税収入等は増収が見込まれているものの、ふるさと納税による減収は拡大し、物価高騰や国の制度変更などに伴う財政措置が十分ではないなど、引き続き厳しい環境にあります。

また、近年、気候変動の影響によるリスクが高まる中で、自然災害は激甚化・頻発化し、治安をめぐる情勢も厳しい状況にあります。

こうした中において、令和7年度予算につきましては、市制100周年の取組を一過性のものとせず、「あたらしい川崎」の実現に向けた施策を着実に推進するとともに、防災・減災、暑熱、防犯などの安全対策や、安心して子どもを産み育てられる環境づくりなど、生命を守り、誰もが安全・安心に暮らすことができる取組に対して重点的に予算を配分いたしました。

今後も、「安心のふるさとづくり」と「力強い産業都市づくり」による、持続可能な「最幸のまちかわさき」の実現をめざして取り組んでまいります。

令和7年2月 川崎市長 福田 紀彦

1	令和7年度 予算案のポイント	P.4
---	----------------	-----

2	令和7年度 重点施策	P.6
---	------------	-----

- | | | |
|---|--------------------------|------|
| ① | 防災・減災、暑熱、防犯などの安全対策 | P.6 |
| ② | 安心して子どもを産み育てられる
環境づくり | P.16 |

3	安心のふるさとづくり	P.21
---	------------	------

4	力強い産業都市づくり	P.28
---	------------	------

5	予算の規模	P.40
---	-------	------

6	一般会計予算案の概要	P.45
---	------------	------

- | | | |
|---|-------------|------|
| ① | 歳入予算 | P.45 |
| ② | 歳出款別(目的別)予算 | P.47 |
| ③ | 歳出性質別予算 | P.49 |

7	行財政改革の取組	P.51
---	----------	------

8	市債残高の推移	P.52
---	---------	------

9	予算と収支フレームとの比較	P.53
---	---------------	------

10	予算編成でのさまざまな取組	P.54
----	---------------	------

- ・ 総合経済対策への対応 P.54
- ・ ふるさと納税に係る取組 P.55
- ・ 身近な施策の財政負担の状況 P.57
- ・ 職員採用の取組 P.58
- ・ 令和6年能登半島地震被災者支援等の
寄附金について P.59

1 令和7年度 予算案のポイント

• 一般会計当初予算の規模 **8,927億円** (対前年度 +215億円・+2.5%)

- ・2年連続の増で、過去最大
- ・制度改正による児童手当費の増などにより、扶助費は2,571億円 (対前年度+188億円・+7.9%)
- ・過去の減債基金借入金(674億円)を除いた場合 8,253億円 (対前年度 +188億円・+2.3%)

• 市税収入 **4,048億円** (対前年度 +194億円・+5.0%)

- ・個人市民税及び固定資産税の増により4年連続の増となり、初めて4千億円を超え、過去最大
(令和6年度に実施された定額減税の影響が減少することによる個人市民税の増を含む)
- ・ふるさと納税による寄附受入額は38億円、市税の減収額は149億円
(令和6年度当初予算 寄附受入額 17億円、減収額 142億円)

• 減債基金新規借入金 **92億円**

- ・平成24年度決算からの借入総額は766億円

1 令和7年度 予算案のポイント (新規・拡充の主な取組)

「生命(いのち)を守る安全・安心予算」(令和7年度 重点施策)

① 防災・減災、暑熱、防犯などの安全対策

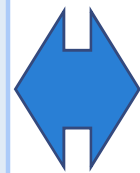
- 災害時のトイレ対策
- 効率的・効果的な防災情報の発信(防災ラジオの導入)
- 木造住宅の耐震化支援
- 防犯カメラの設置推進
- 市立学校の体育館等の空調設備の整備
- 災害時要援護者の個別避難計画の作成支援
- AEDのコンビニエンスストアへの設置推進

② 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

- 周産期支援における切れ目ない支援(妊婦健康診査の支援、産後ケア事業における安全配慮の充実)
- こども・子育て施策におけるデジタル化の推進
(かわさき子育てアプリのリニューアル、乳幼児健診のDX化、一時保育システムの導入)
- 医療的ケア児・者及びその家族に対する支援

「安心のふるさとづくり」

- 川崎らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
(福祉人材の確保・定着に向けた取組など)
- アピアランスケア助成制度の創設
- 持続可能な学校運営体制の構築(教員の人材確保など)
- スポーツ・文化芸術の振興(若者文化の発信など)
- 市制100周年のレガシーに関する取組



「力強い産業都市づくり」

- 脱炭素化の推進(太陽光発電設備等設置費補助金など)
- 臨海部の活性化(大規模土地利用転換の取組など)
- 量子イノベーションパークの実現に向けた取組
- 本市の強みを活かしたインバウンド施策の強化
- 連続立体交差事業の推進や地域公共交通の再構築に向けた取組
- みどりのまちづくりに向けた取組